

令和7年度 和光市保育の質のガイドライン研修

研修テーマ『一人一人に合わせた支援』

R7. 10. 10 和光市保育センター発行



令和7年8月5日、「和光市保育の質のガイドライン研修」を開催しました。当日は、植草学園大学教授 小川晶先生にお越しいただき、「一人一人に合わせた支援」を実践するために大切な“その子理解”や“子どもの捉え方”について、わかりやすくお話しいただきました。後半はグループに分かれて事例検討を行い、参加者同士で意見を交わしながら、理解を深めることができました。

小川先生から学ぶ「一人一人に合わせた支援」(研修内容より抜粋)

子どもは一人一人発達の過程や発達状況が違います。アレルギー疾患を持つ子、外国にルーツを持つ子、発達に課題があり合理的な配慮が必要な子など、保育施設には多様な子どもたちが共に生活しています。

“保育”とは、一人一人を大切にすることです。一人一人を大切にするためには、「その子理解」をしましょう。

～その子理解をするために必要なことは？～

発達には規則性や順序性があります。そのため、発育・発達のチェックリストや「和光市保育の質のガイドライン」を確認し、客観的にアセスメントをして発達の課題がどの部分にあるかを知り、その子理解をしましょう。

生まれながらの個性や障害、アレルギー体質等により、困り感・生きにくさを感じているならば、今と将来を見据えて必要なことを身に付けていく支援が必要です。また、生活環境に課題があり、支援が必要な子もいます。その場合は大人の関わり方をどのように改善したら良いか、アセスメントしましょう。



その子理解をしていくと、一人一人に合わせた支援方法が見えてくる！

その子理解をするために、情報を集めましょう。苦手なことや困った場面ばかりに注目せず、好きなことは何か？どんなことならできるのか？等、考えてみましょう。アセスメントをしていくと、行動の理由が見えてきます。例えば、次の行動に移れない子の理由として、遊びが満足していないからという理由が見えてくる場合もあります。

保育者が一人一人に合わせた支援を行うことで、その関わりを周りの子どもたちも自然と見て学んでいます。「一人一人違っていいんだ！」という気づきが、日々の生活の中で少しずつ育まれていきます。

外国にルーツのある子どもには、日本語や文化を伝える支援が必要です。同時に、その子が持っている文化を周りの子どもたちに伝える良い機会にもなります。さまざまな文化に触れながら、互いに学び合える環境づくりを大切にしましょう。

「和光市保育の質のガイドライン」の
掲載内容を一部ご紹介します！

和光市保育の質のガイドラインの
掲載 HP はこちらから！



🌻 子どもの願い・子どもの思い 🌻

- ★ わたしは、わたしらしくいるために、一人で過ごせる場所や時間が必要な時があります。
- ★ わたしは、専門的な知識に基づいて、わたしに合った方法を考えてくれる人に支援をしてもらいたいです。
- ★ わたしは、わたしらしさを大切にしてもらい、自分なりのペースで成長することを見守ってほしいです。
- ★ わたしは、育った文化や環境が尊重され、安心して過ごせるよう配慮してもらいたいです。
- ★ わたしは、健康な生活が保障されるよう、関係機関と連携をしながら適切な支援をしてほしいです。
- ★ わたしは、自分自身のことを理解して、これからの毎日をより良く生きていきたいです。そのために必要なことを一緒に考えてください。



自分がその子の立場だったらどうだろう？

「子どもの願い・子どもの思い」を参考に、一人一人に合わせた支援について考え、保育の振り返りをしましょう！

※和光市保育の質のガイドライン P.20に掲載

～受講者の感想より～

今回の研修を通して、一人一人に合わせた支援をするためには個に対するアセスメントを様々な角度から丁寧に行う必要があることを学び、実践に活かしていきたいと思いました。また、その子どもの気持ちに立って考えていきたいです。

(さいたま保育園 K 先生)

事例内容に関して分析をしたり、具体的にどんな事が原因なのか、どんな配慮をしていけるのかをよく考える時間になりました。「一人一人」という言葉が、もっと個々の様子をしっかり理解する大切なことだとあらためて意識し、活かしていきたいと思いました。

(キッズエイド和光保育園 S 先生)

和光市保育の質のガイドラインの活用方法が具体的に分かり、とても有意義な研修になりました。今後もガイドラインをすぐ見られるような環境を作りながら、子どもの願い・子どもの思いを常に意識して保育を行っていこうと思いました。また、クラス担任同士で共有し、共通認識のもと、保育を行う重要性を感じました。

(ほんちょう保育園 S 先生)



お問合せ：和光市 保育センター
TEL：048-483-4407